

2013年7月2日
東日本旅客鉄道株式会社

東京駅八重洲口「グランルーフ」の完成及び駅前広場の整備について

JR東日本では、「東京駅が街になる」というコンセプトのもと、「東京ステーションシティ」と命名し、東京駅周辺整備を進めています。

昨年10月の「歴史」を象徴する「丸の内駅舎保存・復原工事」の完成に続き、このたび、9月20日に「未来」を象徴する八重洲口の大屋根・デッキ等の「グランルーフ」が完成します。

また、八重洲口の交通結節機能の強化、豊かな歩行者空間の創出に向けた駅前広場の整備内容についてお知らせします。

1. 「グランルーフ」の完成について

グラントウキョウノースタワーとグラントウキョウサウスタワーをつなぐ大屋根・ペDESTリアンデッキ・みどりの窓口及び店舗等からなる「グランルーフ」が完成します。

「グランルーフ」概要

完成日:2013年9月20日(金)

所在地:東京都千代田区丸の内1丁目9番1号(東京駅八重洲口)

開発面積:約14,000㎡

主要用途:	大屋根	(長さ:約230m、高さ:最大約27m)
	ペDESTリアンデッキ	(長さ:約230m、幅員:最大約9m)
	みどりの窓口	(面積:約380㎡) 9月8日(日)先行開業
	店舗	(店舗面積:約1,900㎡、店舗数:15、運営会社:(株)鉄道会館)
	高速バスのりば	2011年3月使用開始済

【完成予想パース】



グラントウキョウサウスタワー
(2007年10月完成)

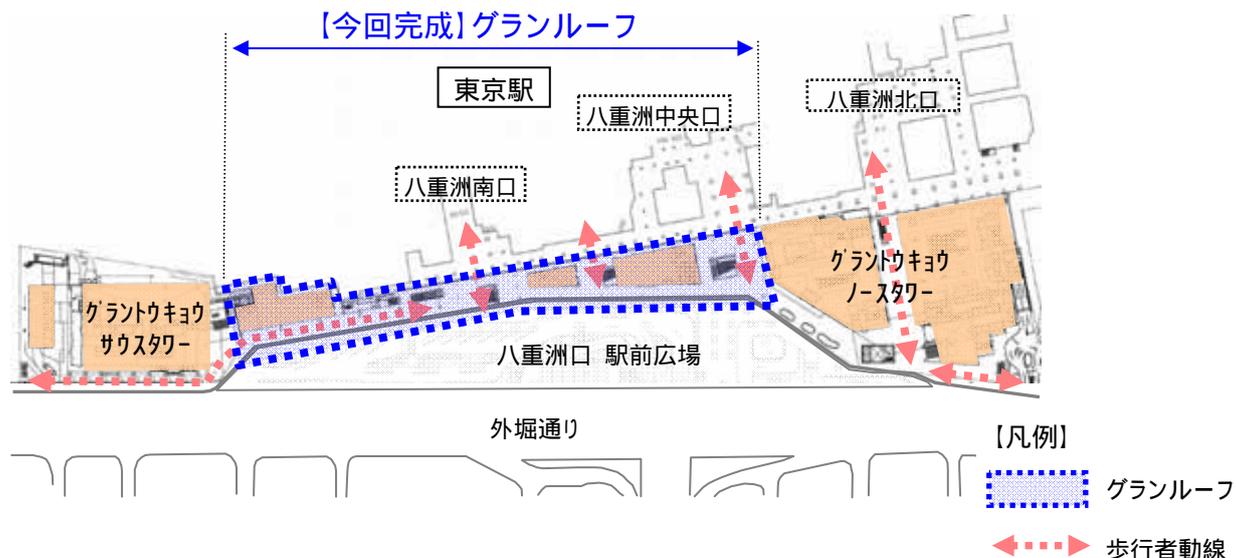
駅前広場
(2014年秋完成予定)

グラントウキョウノースタワー
(2007年10月 期完成)
(2012年8月 期完成)

【現況写真】(2013年6月撮影)



【グランルーフ位置図】 地上レベル



(1) 大屋根・ペDESTリアンデッキ(9月20日使用開始)

- ・「光の帆」をデザインモチーフとした大屋根、賑わい空間と歩行者ネットワークを形成するペDESTリアンデッキが整備され、「先進性」「先端性」を象徴する八重洲口の新たなランドマークとなります。
- ・ペDESTリアンデッキ上の壁面緑化・ドライミストの設置や、大屋根に降った雨水や中水を植栽の灌水等へ利用することにより、地球環境にも貢献します。
- ・ペDESTリアンデッキは南側のグラントウキョウサウスタワーの2階オフィスロビー、北側のグラントウキョウノースタワー(大丸東京店)の2階部分と直結しており、利便性、回遊性が高まります。

【完成予想パース】



(2) みどりの窓口(9月8日先行開業)

現在、八重洲中央口にある「みどりの窓口」がグランルーフ1階に移転します。

(3) 公衆無線LANサービス(9月20日サービス開始予定)

東京駅構内で展開している公衆無線LANサービスをグランルーフの2階ペDESTリアンデッキ部分においても提供し、お客さまの利便性を高めます。

(4) 店舗(9月20日開業)

地下1階から3階には商業施設(全15店舗)がオープンします。東京駅八重洲口の顔として、賑わい、楽しさを創出し、情報発信性や駅周辺の回遊性向上にも貢献します。

【開発コンセプト】

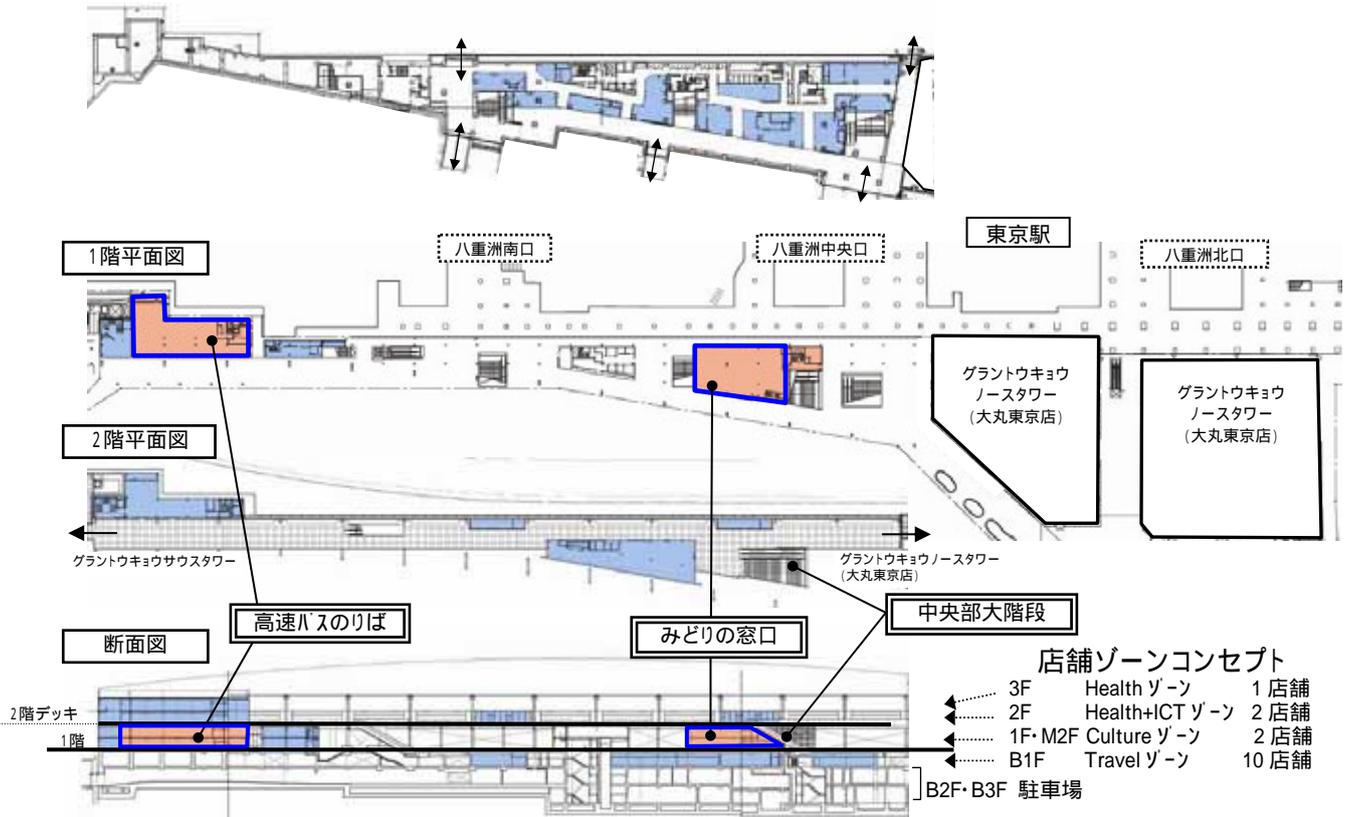
「Yaesu Sensational Scene(ヤエス センセーショナル シーン)」

八重洲口のランドマークになるグランルーフを構成する商業施設として、新たな人の流れを創出し、新しい時間の過ごし方を体感できる「出会い・集いの場」となることを目指します。

グランルーフ施設配置図

地下1階平面図

【凡例】 店舗



2. 八重洲口駅前広場の整備について

東京駅周辺の交通の円滑化、鉄道と二次交通との円滑な乗り換え、歩行者空間の拡充を目的として、八重洲口駅前広場整備を進めていきます。

(1) 交通結節機能の強化

今回のグランルーフ完成にあわせて歩行者空間が整備されます。

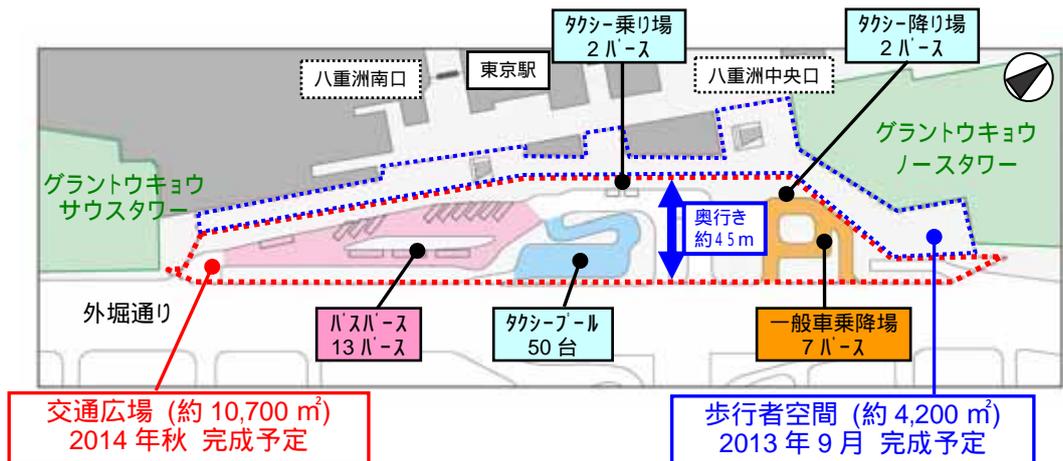
交通広場の奥行きを約 32mから約 45mに拡大し、ターミナル駅としての交通結節機能を強化するほか、緑を配した潤いのある空間を創出します。

- ・タクシープール及び一般車乗降場が新たに整備されます。
- ・バス・タクシーを南側、一般車を北側に配置し、車両動線を明確に分離します。

【主な交通機能】

	バスバース	タクシー乗降場	タクシープール	一般車乗降場
整備前(2004年時点)	9バース	3バース	0台	0バース
今回計画	13バース	4バース	50台	7バース

【配置計画図】



(2) 環境への配慮

環境、歴史等に配慮した東京駅にふさわしい緑豊かな環境広場とします。

【 緑 】 高木、低木の設置、換気塔壁面緑化等を行ない、四季を感じられる憩いの場を形成します。

(シラカシを中心に約 10 種約 80 本、緑化面積約 3,000 m²)

【 水 】 大屋根に降った雨水や中水を広場植栽の灌水に利用し、環境負荷を軽減します。

(使用水量約 15 m³/日、年間 CO₂ 削減量約 1.5t)

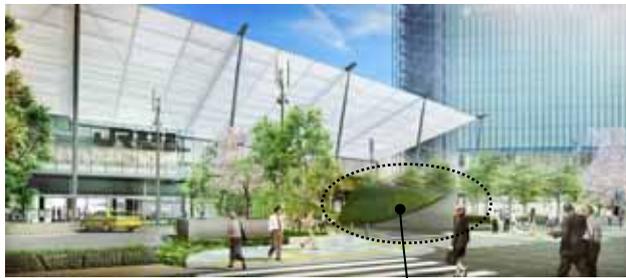
【 風 】 風車付ポール照明により風力発電を行い、広場の照明に活用します。

(8 本設置、年間発電量約 360kwh)

【歴史】 隣接するグラントウキョウサウスタワーの建設地より出土した江戸城外堀りの石垣の一部を活用して、外堀通り沿いにかつての名残を表現します。

(石垣の長さ約 160m、高さ約 0.7m)

【完成予想パース】



換気塔壁面緑化



石垣の再現

風車付ポール照明

(3) スケジュール

交通広場 2014 年秋 完成予定

歩行者空間は 2013 年 9 月完成予定